

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 国語 科目 古典探究

教科：国語

科目：古典探究

単位数：3 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 7 組

使用教科書：（大修館書店『精選 古典探究』）

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する

【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文

科目 古典探究

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、古典に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話	書	読					
<p>説話</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解することを通して、語感を磨き語彙を豊かにする（(1)ア） ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深める（(1)エ） <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章の種類をふまえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉える（A(1)イ） ・古典の作品や文章を多面的多角な視点から捉え、我が国の言語文化について自分の考えを広げる（A(1)ク） <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説話文学に興味をもち、登場人物の言動などから多様な価値観を読み取るようとする ・古典文学と現代とのつながりを理解しようとする 	<p>大江山いくのの道（十訓抄）</p> <p>安倍晴明（今昔物語集）</p> <p>読み比べ</p> <p>演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人1台端末の活用 等 				<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解することを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている（(1)ア） ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている（(1)エ） ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている（(2)イ） <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章の種類をふまえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている（A(1)イ） ・古典の作品やそこに描かれる人物を多面的・多角的な視点から捉え、我が国の言語文化について自分の考えを広げている（A(1)ク） <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説話文学に興味をもち、登場人物の言動などから多様な価値観を読み取るようとしている ・古典文学と現代とのつながりを理解しようとしている 				16
定期考査						○	○		1
<p>1学期</p> <p>随筆</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解することを通して、語感を磨き語彙を豊かにする（(1)ア） ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深める（(1)イ） ・作者のものの見方、感じ方、考え方を理解することを通して、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする（(2)エ） <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作者の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈する（A(1)ウ） ・文章の種類をふまえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉える（A(1)イ） ・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をふまえ、人間、社会、自然に対する自分の考えを広げたり深めたりする（A(1)カ） <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中世的無常観にもとづく作者のものの見方を理解し、自分の体験や経験に引き寄せて考えようとする ・対句的表現や比喩などの修辞技巧に注目し、表現の効果について考えようとする 	<p>花は盛りに（徒然草）</p> <p>安元の大火（方丈記）</p> <p>読み比べ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人1台端末の活用 等 				<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解することを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている（(1)ア） ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている（(1)イ） ・作者のものの見方、感じ方、考え方を理解することを通して、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにしている（(2)エ） <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章の種類をふまえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている（A(1)イ） ・作者の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈している（A(1)ウ） ・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をふまえ、人間、社会、自然に対する自分の考えを広げたり深めたりしている（A(1)カ） <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中世的無常観にもとづく作者のものの見方を理解し、自分の体験や経験に引き寄せて考えようとしている ・対句的表現や比喩などの修辞技巧に注目し、表現の効果について考えようとしている 				18
定期考査						○	○		1

向丘 高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 国語 科目 論理国語

教科：国語 科目：論理国語 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～7組

使用教科書：（精選 論理国語（三省堂））

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 論理国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めて言葉を効果的に使おうとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		話・聞	書	読					
A 「論理国語」へのいざない 【知識及び技能】 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。 ・情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する。 ・読書の意義と効用を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・筆者が定義する「天然知能」について把握し、これからの人間の知性のあり方について考えを深める。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしなが要旨を把握する。 ・根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 ・文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。 ・これからの人間の知性のあり方について述べた文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする。 ・言い換えや比喩を用いながら、自他の関係性について論じる叙述の方法を理解する。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしなが要旨を把握する。 ・根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 ・文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。 ・「アイデンティティには必ず他者が必要だ」という筆者の主張を基に、自分の考えを論述したり発表したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く本文の構成と各段落の関係を捉え、学習課題に沿ってまとめようとしている。 ・自他の関係性についての筆者の主張を積極的に自身に引きつけて考え、表現の仕方を工夫して書こうとしている。 ・本文中の比喩表現について、積極的にその効果を説明しようとしている。	「論理力と思考力」野矢茂樹 学びを広げる（中身当てクイズ） 演習 ・一人1台端末の活用 等 新聞記事を選び、自分の考えを述べる	○	○	○	A 「論理国語」との出会い 【知識及び技能】 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。 ・情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する。 ・読書の意義と効用を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・筆者が定義する「天然知能」について把握し、これからの人間の知性のあり方について考えを深める。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしなが要旨を把握する。 ・根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 ・文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。 ・これからの人間の知性のあり方について述べた文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする。 ・言い換えや比喩を用いながら、自他の関係性について論じる叙述の方法を理解する。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしなが要旨を把握する。 ・根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 ・文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。 ・「アイデンティティには必ず他者が必要だ」という筆者の主張を基に、自分の考えを論述したり発表したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く本文の構成と各段落の関係を捉え、学習課題に沿ってまとめようとしている。 ・自他の関係性についての筆者の主張を積極的に自身に引きつけて考え、表現の仕方を工夫して書こうとしている。 ・本文中の比喩表現について、積極的にその効果を説明しようとしている。	○	○	○	4
	○	○	○	○		5			
定期考査		○	○	○	○	○	○	○	1

1 学期

<p>B 情報社会を生きる</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・ 文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。 ・ 情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する。 ・ 読書の意義と効用を理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 言い換えや比喩を用いながら、自他の関係性について論じる叙述の方法を理解する。 ・ 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしなが要旨を把握する。 ・ 根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 ・ 文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。 ・ 「アイデンティティには必ず他者が必要だ」という筆者の主張を基に、自分の考えを論述したり発表したりする。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 粘り強く本文の構成と各段落の関係を捉え、学習課題に沿ってまとめようとしている。 ・ 自他の関係性についての筆者の主張を積極的に自身に引きつけて考え、表現の仕方を工夫して書こうとしている。 ・ 本文中の比喩表現について、積極的にその効果を説明しようとしている。 	<p>「ぬくみ」 鷲田清一 演習 ・ 一人1台端末の活用 等</p> <p>「マルジャーナの知恵」 岩井克人 学びを広げる（環境問題について考える） 演習 ・ 一人1台端末の活用 等</p>	<p>○ ○</p> <p>○ ○</p>	<p>B 情報社会を生きる</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・ 文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。 ・ 情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する。 ・ 読書の意義と効用を理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 具体例と主張との関係を整理して論理構成を把握し、筆者が主張する日本語の特徴を理解する。 ・ 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしなが要旨を把握する。 ・ 根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 ・ 文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。 ・ 日本語の特徴について述べた文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする。 ・ 自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する。 ・ 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・ 文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。 ・ 情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する。 ・ 読書の意義と効用を理解する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 具体例と主張との関係を粘り強く整理しながら本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿ってまとめようとしている。 ・ 筆者が説明する「私」と「公」との関係を表や図を用いて積極的に整理しようとしている。 ・ 学習課題に沿って、ある場面における自分自身をさす語の選択について積極的に考え、発表しようとしている。 ・ 積極的に本文中にあげられていることわざや慣用表現について調べ、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。 	<p>○ ○ ○</p> <p>○ ○ ○</p>	<p>6</p> <p>7</p>
<p>定期考査</p>		<p>○ ○</p>		<p>○ ○</p>	<p>1</p>
<p>C 環境問題を考える</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・ 文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。 ・ 情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する。 ・ 読書の意義と効用を理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アリの生態の紹介から人間社会の問題点へと展開する論の構造を読み取り、筆者の主張を理解する。 ・ 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしなが要旨を把握する。 ・ 根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 ・ 文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。 ・ アリの生態を紹介しながら人間社会の問題点について述べた文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする。 ・ 自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実験をふまえて結論に至った論理の展開を表形式で積極的にまとめようとしている。 ・ 積極的に筆者の主張をふまえ、学習課題に沿って自分の考えを文章にまとめようとしている。 ・ 学習課題に沿って積極的に慣用表現について調べたり、表現効果について考えたりすることで、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。 	<p>「世代間倫理としての環境倫理学」 加藤尚武 加藤尚武 演習 ・ 一人1台端末の活用 等</p>	<p>○ ○</p>	<p>C 環境問題を考える</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・ 文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。 ・ 情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する。 ・ 読書の意義と効用を理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アリの生態の紹介から人間社会の問題点へと展開する論の構造を読み取り、筆者の主張を理解する。 ・ 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしなが要旨を把握する。 ・ 根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 ・ 文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。 ・ アリの生態を紹介しながら人間社会の問題点について述べた文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする。 ・ 自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実験をふまえて結論に至った論理の展開を表形式で積極的にまとめようとしている。 ・ 積極的に筆者の主張をふまえ、学習課題に沿って自分の考えを文章にまとめようとしている。 ・ 学習課題に沿って積極的に慣用表現について調べたり、表現効果について考えたりすることで、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。 	<p>○ ○ ○</p> <p>○ ○ ○</p>	<p>6</p>

<p>I 「市民社会」について考える</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。 ・情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する。 ・読書の意義と効用を理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体例と主張との関係、段落相互の関係を把握し、民主主義社会のあり方について理解を深める。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしなが要旨を把握する。 ・根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 ・文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。 ・民主主義社会のあり方について述べた文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民主主義社会のあり方について述べた評論を粘り強く読み、学習課題に沿って本文の構成や、要旨を捉えようとしている。 ・本文を粘り強く読み、個別の事例と筆者の主張との関係を理解しようとしている。 ・学習課題に沿って例を探しながら「『である』価値と『する』価値の倒錯」について考え、どうなれば民主化が進んだ状態と言えるのか、考えたことを積極的に発表しようとしている。 ・積極的に本文の表現上の特徴を捉えようとしている。 	<p>「である」ことと「する」こと 演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人1台端末の活用 等 	○	○	<p>I 評論9</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。 ・情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する。 ・読書の意義と効用を理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体例と主張との関係、段落相互の関係を把握し、民主主義社会のあり方について理解を深める。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしなが要旨を把握する。 ・根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 ・文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。 ・民主主義社会のあり方について述べた文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民主主義社会のあり方について述べた評論を粘り強く読み、学習課題に沿って本文の構成や、要旨を捉えようとしている。 ・本文を粘り強く読み、個別の事例と筆者の主張との関係を理解しようとしている。 ・学習課題に沿って例を探しながら「『である』価値と『する』価値の倒錯」について考え、どうなれば民主化が進んだ状態と言えるのか、考えたことを積極的に発表しようとしている。 ・積極的に本文の表現上の特徴を捉えようとしている。 	○	○	13
定期考査		○	○		○	○	1
							合計
							67

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 地理歴史 科目 世界史探究

教科：地理歴史 科目：世界史探究 単位 3 単位
 対象学年組：第 2 学年
 使用教科書：（ 山川出版社『詳説世界史』 ）
 教科 地理歴史 の目標：

- 【知識及び技能】世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを時期や年代などの関連や現代世界とのつながりなどに着目して多角的に考察する。
- 【学びに向かう力、人間性等】世界の歴史の展開に関わる出来事について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探求しようという態度を養う。また多面的・多角的な考察と理解を通し日本はもちろん他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。

科目 世界史探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解している。 ・諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。	・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを時期や年代などの関連や現代世界とのつながりなどに着目して多角的に考察できる。	・世界の歴史の展開に関わる出来事について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探求しようしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	【知識及び技能】 ・自然環境の変化と濃厚・牧畜の関係について考察し、文明誕生の基礎と文明が生まれるために必要だった条件を理解させる。 ・オリエントとその周辺に成立した国家や文化を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文明の形成に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響などの関連に着目し、諸地域の歴史的特質を読み解く観点について考察し、問いを表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・文明の誕生や古代文明について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見いだし、見直しをもって学習に取り組もうとする姿勢を身に付けさせる。	①文明の成立と古代文明の特質 ・文明の誕生 ・古代オリエント文明とその周辺 ・南アジアの古代文明 ・中国の古代文明 ・南北アメリカ文明	【知識・技能】 【思考・判断・表現】教科書・資料集などからの読み取り、ワークシート、小テスト 【主体的な態度】 ディスカッション、ワークシート、レポート	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
	【知識及び技能】 ・中央ユーラシアの厳しい環境に適応した遊牧民やオアシス民の生活のありさまを理解させる。 ・秦か唐の統一国家の支配体制についてそれまでの時代や他の地域と比較し理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・風土を示す写真や史料をもとに、その時代の特徴や近隣諸国への影響を多角的に考察し表現させる。 ・インドにおいて、それまで仏教やジャイナ教がさかんだったことをふまえた上で、ヒンドゥー教が社会に根付いていった背景を考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・東アジアや南アジア、東南アジアの諸国家について、自分が抱いた興味、関心と疑問、追究してみたいことを見いだし、見直しをもって学習に取り組もうとする姿勢を身に付けさせる。	①中央ユーラシアと東アジア世界 ・草原とオアシスの世界 ・秦、漢帝国 ・中国の動乱と変容 ・東アジア文化圏の形成 ②東アジア世界と長男アジア世界の展開 ・仏教の成立と南アジアの統一国家 ・インド古典文化とヒンドゥー教の定着 ・東南アジア世界の形成と展開	【知識・技能】 【思考・判断・表現】教科書・資料集などからの読み取り、ワークシート、小テスト 【主体的な態度】 ディスカッション、ワークシート、レポート	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 数学 科目 数学Ⅱ

教科： 数学 科目： 数学Ⅱ 単位数： 4 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 7 組

使用教科書： (高等学校 数学Ⅱ(数研出版))

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理などを体系的に理解し、数学的に表現・処理する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して論理的に考察する、思考の過程を統合的・発展的に考察して表現する力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し、数学的論拠による判断、問題解決の過程を振り返って粘り強く自己評価できるようにする。

科目 数学Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明確・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A 式と証明 【知識及び技能】 三次の乗法公式及び因数分解の公式を理解し、それらを用いて式の展開や因数分解をすること。 【思考力、判断力、表現力等】 式の計算の方法を既に学習した数や式の計算と関連付け多面的に考察すること。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し、数学的論拠による判断、問題解決の過程を振り返って粘り強く自己評価できるようにする。	・指導事項 3次式の展開と因数分解 二項定理 ・教材 教科書、問題集、参考書 一人1台端末の活用 等 授業資料の共有 グラフ描画ソフト ポートフォリオの作成	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出	○	○	○	10
	B 式と証明 【知識及び技能】 多項式の除法や分数式の四則計算の方法について理解し、簡単な場合について計算をすること。 【思考力、判断力、表現力等】 実数の性質や等式の性質、不等式の性質などを基に、等式や不等式が成り立つことを論理的に考察し、証明すること。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し、数学的論拠による判断、問題解決の過程を振り返って粘り強く自己評価できるようにする。	・指導事項 等式の証明 不等式の証明 ・教材 教科書、問題集、参考書 一人1台端末の活用 等 授業資料の共有 グラフ描画ソフト ポートフォリオの作成	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
	C 複素数と方程式 【知識及び技能】 数を複素数まで拡張する意義を理解し、複素数の四則計算をすること。 【思考力、判断力、表現力等】 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、方程式を問題解決に活用すること。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し、数学的論拠による判断、問題解決の過程を振り返って粘り強く自己評価できるようにする。	・指導事項 複素数と2次方程式の解 高次方程式 ・教材 教科書、問題集、参考書 一人1台端末の活用 等 授業資料の共有 グラフ描画ソフト ポートフォリオの作成	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出	○	○	○	16
D 図形と方程式 【知識及び技能】 座標を用いて、平面上の線分を内分する点、外分する点の位置や二点間の距離を表すこと。 【思考力、判断力、表現力等】 座標平面上図形について構成要素間の関係に着目し、それを方程式を用いて表現し、図形の性質や位置関係について考察すること。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し、数学的論拠による判断、問題解決の過程を振り返って粘り強く自己評価できるようにする。	・指導事項 点と直線 ・教材 教科書、問題集、参考書 一人1台端末の活用 等 授業資料の共有 グラフ描画ソフト ポートフォリオの作成	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出	○	○	○	14	
定期考査			○	○		1	
2 学期	A 図形と方程式 【知識及び技能】 座標平面上の直線や円を方程式で表すこと。 【思考力、判断力、表現力等】 数量と図形との関係などに着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、コンピュータなどの情報機器を用いて軌跡や不等式の表す領域を座標平面上に表すなどして、問題解決に活用したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し、数学的論拠による判断、問題解決の過程を振り返って粘り強く自己評価できるようにする。	・指導事項 円 軌跡と領域 ・教材 教科書、問題集、参考書 一人1台端末の活用 等 授業資料の共有 グラフ描画ソフト ポートフォリオの作成	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出	○	○	○	10
	B 三角関数 【知識及び技能】 角の概念を一般角まで拡張する意義や弧度法による角度の表し方について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 三角関数に関する様々な性質について考察するとともに、三角関数の加法定理から新たな性質を導くこと。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し、数学的論拠による判断、問題解決の過程を振り返って粘り強く自己評価できるようにする。	・指導事項 三角関数 ・教材 教科書、問題集、参考書 一人1台端末の活用 等 授業資料の共有 グラフ描画ソフト ポートフォリオの作成	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
C 三角関数	・指導事項	【知識・技能】					

	<p>【知識及び技能】 三角関数の加法定理や2倍角の公式、三角関数の合成について理解すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し、数学的論拠による判断、問題解決の過程を振り返って粘り強く自己評価できるようにする。</p>	<p>加法定理</p> <ul style="list-style-type: none"> 教材 教科書、問題集、参考書 一人1台端末の活用 等 授業資料の共有 グラフ描画ソフト ポートフォリオの作成 	<p>定期考査</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>定期考査</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>課題提出</p>	○	○	○	16
	<p>D 指数関数と対数関数</p> <p>【知識及び技能】 指数を正の整数から有理数へ拡張する意義を理解し、指数法則を用いて数や式の計算をすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 指数関数及び対数関数の式とグラフの関係について、多面的に考察すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し、数学的論拠による判断、問題解決の過程を振り返って粘り強く自己評価できるようにする。</p>	<p>指導事項</p> <p>指数関数</p> <p>対数関数</p> <ul style="list-style-type: none"> 教材 教科書、問題集、参考書 一人1台端末の活用 等 授業資料の共有 グラフ描画ソフト ポートフォリオの作成 	<p>【知識・技能】</p> <p>定期考査</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>定期考査</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>課題提出</p>	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
3 学 期	<p>A 微分法と積分法</p> <p>【知識及び技能】 微分係数や導関数の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の導関数を求めること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 関数とその導関数との関係について考察すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し、数学的論拠による判断、問題解決の過程を振り返って粘り強く自己評価できるようにする。</p>	<p>指導事項</p> <p>微分係数と導関数</p> <p>関数の値の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> 教材 教科書、問題集、参考書 一人1台端末の活用 等 授業資料の共有 グラフ描画ソフト ポートフォリオの作成 	<p>【知識・技能】</p> <p>定期考査</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>定期考査</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>課題提出</p>	○	○	○	10
	<p>B 微分法と積分法</p> <p>【知識及び技能】 不定積分及び定積分の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の不定積分や定積分の値を求めること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 関数の局所的な変化に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し、数学的論拠による判断、問題解決の過程を振り返って粘り強く自己評価できるようにする。</p>	<p>指導事項</p> <p>積分法</p> <ul style="list-style-type: none"> 教材 教科書、問題集、参考書 一人1台端末の活用 等 授業資料の共有 グラフ描画ソフト ポートフォリオの作成 	<p>【知識・技能】</p> <p>定期考査</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>定期考査</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>課題提出</p>	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 数学 科目 数学B

教科： 数学 科目： 数学B 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 5 組～ 8 組

使用教科書： （ 高等学校 数学B(数研出版) ）

教科 数学 の目標：

- 【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理などを体系的に理解し、数学的に表現・処理する技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して論理的に考察する、思考の過程を統合的・発展的に考察して表現する力を身に付ける。
- 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し、数学的論拠による判断、問題解決の過程を振り返って粘り強く自己評価できるようにする。

科目 数学B の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学化したたり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 数列 【知識及び技能】 等差数列と等比数列について理解し、それらの一般項や和を求めること。 【思考力、判断力、表現力等】 事象から離散的な変化を見だし、それらの変化の規則性を数学的に表現し考察すること。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し、数学的論拠による判断、問題解決の過程を振り返って粘り強く自己評価できるようにする。	・指導事項 等差数列と等比数列 いろいろな数列 ・教材 教科書、問題集、参考書 ・一人1台端末の活用 等 授業資料の共有 グラフ描画ソフト ポートフォリオの作成	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	B 数列 【知識及び技能】 漸化式について理解し、事象の変化を漸化式で表したり、簡単な漸化式で表された数列の一般項を求めたりすること。 【思考力、判断力、表現力等】 事象の再帰的な関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、数列の考えを問題解決に活用すること。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し、数学的論拠による判断、問題解決の過程を振り返って粘り強く自己評価できるようにする。	・指導事項 漸化式と数学的帰納法 ・教材 教科書、問題集、参考書 ・一人1台端末の活用 等 授業資料の共有 グラフ描画ソフト ポートフォリオの作成	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出	○	○	○	12
定期考査			○	○		1	
2 学 期	A 統計的な推測 【知識及び技能】 標本調査の考え方について理解を深めること。 【思考力、判断力、表現力等】 確率分布や標本分布の特徴を、確率変数の平均、分散、標準偏差などを用いて考察すること。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し、数学的論拠による判断、問題解決の過程を振り返って粘り強く自己評価できるようにする。	・指導事項 確率分布 ・教材 教科書、問題集、参考書 ・一人1台端末の活用 等 授業資料の共有 グラフ描画ソフト ポートフォリオの作成	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	B 統計的な推測 【知識及び技能】 二項分布と正規分布の性質や特徴について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 目的に応じて標本調査を設計し、収集したデータを基にコンピュータなどの情報機器を用いて処理するなどして、母集団の特徴や傾向を推測し判断するとともに、標本調査の方法や結果を批判的に考察すること。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し、数学的論拠による判断、問題解決の過程を振り返って粘り強く自己評価できるようにする。	・指導事項 統計的な推測 ・教材 教科書、問題集、参考書 ・一人1台端末の活用 等 授業資料の共有 グラフ描画ソフト ポートフォリオの作成	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出	○	○	○	13
定期考査			○	○		1	

3 学 期	<p>A 数学と社会生活</p> <p>【知識及び技能】 社会生活などにおける問題を，数学を活用して解決する意義について理解すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 日常の事象や社会の事象において，数・量・形やそれらの関係に着目し，理想化したり単純化したりして，問題を数学的に表現すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し、数学的論拠による判断、問題解決の過程を振り返って粘り強く自己評価できるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 数学を活用した課題解決 ・教材 教科書、問題集、参考書 ・一人1台端末の活用等 授業資料の共有 グラフ描画ソフト ポートフォリオの作成 	<p>【知識・技能】 定期考査</p> <p>【思考・判断・表現】 定期考査</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出</p>	○	○	○	10
	<p>B 数学と社会生活</p> <p>【知識及び技能】 日常の事象や社会の事象などを数学化し，数理的に問題を解決する方法を知ること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 問題解決の過程や結果の妥当性について批判的に考察すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し、数学的論拠による判断、問題解決の過程を振り返って粘り強く自己評価できるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 移動平均 回帰分析 ・教材 教科書、問題集、参考書 ・一人1台端末の活用等 授業資料の共有 グラフ描画ソフト ポートフォリオの作成 	<p>【知識・技能】 定期考査</p> <p>【思考・判断・表現】 定期考査</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出</p>	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1

年間授業計画

向丘 高等学校 令和8年度(2学年用) 教科:理科 科目:化学基礎

教科: 理科 科目: 化学基礎 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 2 学年 1組、2組、3組、4組、5組、6組、7組

使用教科書: (化学基礎 第一学習社)

教科 理科 の目標:

【知識及び技能】 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身

【思考力、判断力、表現力等】 観察・実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的にかかわり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 化学基礎 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、化学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	評価の観点			配当 時数
				知	思	態	
1 学 期	物質とその構成 【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握する。	物質の成分 物質を構成する元素 状態変化と熱運動 原子の構造 電子配置 元素の相互関係	【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握し調整することが出来る。	○	○	○	8
	定期考査(1学期中間考査)			○	○		1
	考査返却・単元の振り返り					○	1
	物質と化学結合 【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握する。	イオン イオンの特徴 イオン結合と組成式 イオン結晶 分子と共有結合 配位結合・結合の極性 水素結合・結晶 金属・錯イオン	【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握し調整することが出来る。	○	○	○	11
	定期考査(1学期期末考査)			○	○		1
考査返却・単元の振り返り					○	1	

高等学校 令和8年度（2学年用）

理科 科目 地学基礎

教科：理科

科目：地学基礎

単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 1, 2, 3, 4組

使用教科書：（「地学基礎」 第一学習社）

教科 理科

の目標：

【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 地学基礎

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
地球のすがた 【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握する。	第1節 地球の概観 ①. 地球の形と大きさ 2. 地球の形の特徴と大きさ 3. 地球の内部構造 4. 地球内部の動き	【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握することが出来る。	○	○	○	5
	第2節 プレート運動 1. プレートの分布と運動 2. プレートの境界 3. 地殻の変動と地質構造 4. 変成作用 5. 大地形の形成	【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握することが出来る。	○	○	○	5
地球の活動 【知識及び技能】 項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握する。	第1節 地震 1. 地震の発生と分布 2. 地震波の伝わり方 3. 日本付近で発生する地震① 4. 日本付近で発生する地震②	【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握することが出来る。				4
定期考査			○	○		1
地球の活動 【知識及び技能】 項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握する。	第2節 火山活動 1. 火山の分布 2. 火山の形成とマグマ 3. 火山の噴火 4. 火山の地形 5. 火成岩の形成 6. 火成岩の種類	【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握することが出来る。	○	○	○	6
大気と海洋 【知識及び技能】 項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を養う。	第1節 地球のエネルギー収支 1. 大気の構成と特徴① 2. 大気の構成と特徴② 3. 対流圏における水の変化 4. 太陽放射と地球放射 5. 地球を出入りするエネルギー	【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握することが出来る。	○	○	○	5
定期考査			○	○		1

1 学期

年間授業計画

向丘 高等学校 令和8年度（2学年用） 教科：保健体育 科目：体育

教科：保健体育

科目：体育

単位数：3 単位

対象学年組：第2 学年 1組～7組

使用教科書：（現代高等保健体育）

教科 保健体育

の目標：

【知識及び技能】

各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解すると共に、技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

生涯にわたって継続して運動に親しむとともに、健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することが出来るようになるため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組み、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	評価の機会				配当 時数
			知	技	思	態	
<p>バレーボール</p> <p>【知識及び技能】 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって、空いた場所をめぐる攻防を展開することが出来るようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 体力の高め方、運動観察の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。作戦などについての話し合いに貢献しようとする。安全を確保することができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 個人でのボール操作の練習 対人でのボール操作の練習 動きながらのボール操作の練習 サーブ練習 サーブカット（レシーブ）の練習 スパイクの仕方の確認と練習 キャッチレシーブのルールを変更し、キャッチ後に動ける制限をしてより、実践に近い3段攻撃を行う。 ローテーションの仕方の説明 ゲームの中で3段攻撃を意識する ブロックについてのルールを確認する 攻防の中でチャンスがあれば2アタックが有効であることを確認し、練習する 審判の仕方について確認する チームで作戦を立ててゲームをする。 自分まで役割を決め、審判をする 	<p>【知識及び技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> 空いた場所をめぐる攻防を展開するためのボールや用具の操作と定位に戻るなどの動きができる。 ゲームを展開するための作戦に応じた技能や仲間と連携した動きを身に付けている。 試合の運営の仕方を知っている <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ol style="list-style-type: none"> ボール操作やボールを持たないときの動きなどの技術を身に付けるための運動のポイントを見つけている。 自己やチームの課題を見つけている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ol style="list-style-type: none"> 種目の練習に積極的に取り組もうとしている。 作戦などの話し合いなどについて自分の考えを話している。 仲間の学習を援助しようとしている。 試合に必要な準備を主体的に取り組んでいる。 	○	○	○	○	12
<p>アルティメット</p> <p>【知識及び技能】 安定したディスク操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防を展開できるようにする</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動の観察などを理解し、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。自己の責任を果たそうとすること、作戦などについての話し合いに貢献しようとする。安全を確保することができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ディスクの持ち方確認 バックハンドスローの練習 2メンでバックハンドスロー 2対2 3対3 フロントハンドスロー ミニゲーム スロー&キャッチ走 ゲーム運営の確認とゲーム 試合 	<p>【知識及び技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> 技術の名称や行い方について、学習した具体例を挙げている。 ゴール前での攻防を展開するためのボール操作と空間に走りこむなどの動きができる。 ゴール前への侵入などから攻防を展開するための安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ol style="list-style-type: none"> 自己や相手チームの特徴を踏まえた作戦や戦術を選んでいる。 技術的な課題や有効な練習方法の選択について指摘している。 話し合いの場面で、合意を形成するための適切なかわり方を見つけている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ol style="list-style-type: none"> 学習に自主的に取り組もうとしている。 作戦などについての話し合いに貢献しようとしている。 	○	○	○	○	12
<p>1学期</p> <p>バドミントン</p> <p>【知識及び技能】 個人的技能やペアとの連携能力を高め、自分やペアの能力に応じたゲームができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自分やペアの能力に適した課題を設定するとともに、その解決を目指して練習方法を工夫し、技能を生かした作戦を立て、ゲームができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 活動場所や用具などの安全を確かめ、まわりを確認してラケットを振るなど、健康・安全に留意して練習やゲームを行う態度を身に付ける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> シャトルすくい フォアハンドでシャトル上げ打ち バックハンドでシャトル上げ打ち フォアとバックを交互にシャトル打ち ネットの貼り方を説明、練習 サーブについてのルール確認、練習 ハイクリアーの練習 ドライブの習得 ショット別ラリー ドロップショットの習得 ヘアピンの習得 シングルスゲームのルール、運営の仕方を確認 ダブルスゲームのルール、運営の仕方を確認 試合 	<p>【知識及び技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> 用具の準備、準備運動、練習の仕方や用語を知っている 個人的技能の構成と自分のレベル、それらを高めるための練習の仕方を把握している 各種フライットやサービス、レシーブ等の個人的技能を身に付けている <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ol style="list-style-type: none"> 自分やグループの能力に応じて適切にグループの課題を見つけ、計画的な練習の仕方を工夫している。 試合の結果や対戦手を分析し、自分(ペア)の技能程度に応じた作戦を立てようとする。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ol style="list-style-type: none"> 自分の技能を高めるためにすすんで練習に取り組もうとしている。 課題を解決するための話し合いや作戦などについての話し合いに貢献しようとしている。 	○	○	○	○	6
<p>テニス①</p> <p>【知識及び技能】 個人的技能やペアとの連携能力を高め、自分やペアの能力に応じたゲームができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自分やペアの能力に適した課題を設定するとともに、その解決を目指して練習方法を工夫し、技能を生かした作戦を立て、ゲームができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 活動場所や用具などの安全を確かめ、まわりを確認してラケットを振るなど、健康・安全に留意して練習やゲームを行う態度を身に付ける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 用具の確認 ラリー サーブ練習 フォアハンドの練習 バックハンドの練習 スマッシュの練習 ドロップショットの練習 シングルのやり方・規則の確認とシングルスゲーム ダブルスのやり方・規則の確認とダブルスゲーム 試合 	<p>【知識及び技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> 用具の準備、準備運動、練習の仕方や卓球の用語を知っている 個人的技能の構成と自分のレベル、それらを高めるための練習の仕方を把握している 各種ショットやサービス、レシーブなどの個人的技能を身に付けている <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ol style="list-style-type: none"> 自分やグループの能力に応じて適切にグループの課題を見つけ、計画的な練習の仕方を工夫している。 試合の結果や対戦手を分析し、自分(ペア)の技能程度に応じた作戦を立てようとする。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ol style="list-style-type: none"> 自分の技能を高めるためにすすんで練習に取り組もうとしている。 課題を解決するための話し合いや作戦などについての話し合いに貢献しようとしている。 	○	○	○	○	6

2 学 期	<p>ラグビー</p> <p>【知識及び技能】 役割に応じたポジション、ボール操作や仲間と連携した動きによって、トライを目指すようにする。相手の動きに合わせてチームディフェンスができるようになる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 体力の高め方、運動観察の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。作戦などについての話し合いに貢献しようとする。安全を確保することができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 個人でのボール操作の練習 対人でのボール操作の練習 動きながらのボール操作の練習 ラン練習 タックル練習 1対1の対戦練習 ノックオン、スローフォワード、オーバーステップなどの基本ルールを理解し、パスをつなげてトライを目指すように工夫する。 ローテーションの仕方の説明 ゲームの中で危険なプレイについて意識させる 攻防の中でオフサイドの反則が起こりやすいことを確認し、判断の練習をする 審判の仕方について確認する チームで作戦を立ててゲームをする。 攻撃ラインの作りかた、ゾーンディフェンスがマンツーマンか、状況によってどう変化させるか。 自分たちで役割を決め、審判をする。 チームの改善点を見つけ、練習をして試合に活かせるようにする。 試合 	<p>【知識及び技能】</p> <p>①基本的なパス、ができる。ストレートパス、スクルーパスが使える。空いた場所をめぐる攻防を展開するためのボールや相手の状況によってラインの位置に戻るなどの動きができる。</p> <p>②ゲームを展開するための作戦に応じた技能や仲間と連携した動きを身に付けている。</p> <p>③試合の運営の仕方を知っている</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>①ボール操作やボールを持たないときの動きなどの技術を身に付けるための運動の仕方のポイントを見つけている。</p> <p>②自己やチームの課題を見つけている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>①種目の練習に積極的に取り組もうとしている。</p> <p>②作戦などの話し合いなどについて自分の考えを話している。</p> <p>③仲間の学習を援助しようとしている。</p> <p>④試合に必要な準備を主体的に取り組んでいる。</p>	○	○	○	○	14
	<p>バスケットボール②</p> <p>【知識及び技能】安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防を展開できるようにする</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】技術の名称や行い方、体力の高め方、運動の観察などを理解し、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できる</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。自己の責任を果たそうとすること、作戦などについての話し合いに貢献しようとする。安全を確保することができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> チェストパス、バウンズパスの練習 フォロアップシュート：30秒間でゴール下シュートを交互に打つ サークルドリブル 基本のレイアップシュートの練習 ステップを使用したランニングシュートの練習 アウトナンバーの攻め方を確認して、練習 ドリブルなしの3対3、4対4、5対5を通して、パスランを学び、空いたスペースに飛び込む動きを習得する チームの課題に応じた練習をする ゲーム運営の確認とゲーム 試合 	<p>【知識及び技能】</p> <p>①技術の名称や行い方について、学習した具体例を挙げている。</p> <p>②ゴール前での攻防を展開するためのボール操作と空間に走りこむなどの動きができる。</p> <p>③ゴール前への侵入などから攻防を展開するための安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>①自己のチームや相手チームの特徴を踏まえた作戦や戦術を選んでいる。</p> <p>②技術的な課題や有効な練習方法の選択について指摘している。</p> <p>③話し合いの場面、合意を形成するための適切なかわり方を見つけている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>①学習に自主的に取り組もうとしている。</p> <p>②作戦などについての話し合いに貢献しようとしている。</p>	○	○	○	○	14
	<p>テニス②</p> <p>【知識及び技能】 個人的技能やペアとの連携能力を高め、自分やペアの能力に応じたゲームができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自分やペアの能力に適した課題を設定するとともに、その解決を目指して練習方法を工夫し、技能を生かした作戦を立て、ゲームができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 活動場所や用具などの安全を確かめ、まわりを確認してラケットを振るなど、健康・安全に留意して練習やゲームを行う態度を身に付ける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 用具の確認 ラリー サーブ練習 フォアハンドの練習 バックハンドの練習 スマッシュの練習 ドロップショットの練習 シングルスやダブルスのやり方・規則の確認とシングルスゲーム ダブルスのやり方・規則の確認とダブルスゲーム 試合 	<p>【知識及び技能】</p> <p>①用具の準備、準備運動、練習の仕方や卓球の用語を知っている</p> <p>②個人的技能の構成と自分のレベル、それらを高めるための練習の仕方を把握している。</p> <p>③各種ショットやサービス、レシーブなどの個人的技能を身に付けている</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>①自分やグループの能力に応じて適切にグループの課題を見つけ、計画的な練習の仕方を工夫している。</p> <p>②試合の結果や対戦相手や相手（ペア）の技能程度に応じた作戦を立てようとする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>①自分の技能を高めるためにすすんで練習に取り組もうとしている</p> <p>②課題を解決するための話し合いや作戦などについての話し合いに貢献しようとしている。</p>	○	○	○	○	7
	<p>バドミントン</p> <p>【知識及び技能】 個人的技能やペアとの連携能力を高め、自分やペアの能力に応じたゲームができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自分やペアの能力に適した課題を設定するとともに、その解決を目指して練習方法を工夫し、技能を生かした作戦を立て、ゲームができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 活動場所や用具などの安全を確かめ、まわりを確認してラケットを振るなど、健康・安全に留意して練習やゲームを行う態度を身に付ける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> シャトルすくい フォアハンドでシャトル上げ打ち バックハンドでシャトル上げ打ち フォアとバックを交互にシャトル打ち ネットの貼り方を説明、練習 サービスについてのルール確認、練習 ハイクサーブの練習 ドライブの習得 ショット別ラリー ドロップショットの習得 ヘアピン シングルスゲームのルール、運営の仕方を確認 ダブルスゲームのルール、運営の仕方を確認 試合 	<p>【知識及び技能】</p> <p>①用具の準備、準備運動、練習の仕方や用語を知っている</p> <p>②個人的技能の構成と自分のレベル、それらを高めるための練習の仕方を把握している。</p> <p>③各種フットワークやサービス、レシーブ等の個人的技能を身に付けている</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>①自分やグループの能力に応じて適切にグループの課題を見つけ、計画的な練習の仕方を工夫している。</p> <p>②試合の結果や対戦相手や相手（ペア）の技能程度に応じた作戦を立てようとする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>①自分の技能を高めるためにすすんで練習に取り組もうとしている</p> <p>②課題を解決するための話し合いや作戦などについての話し合いに貢献しようとしている。</p>	○	○	○	○	7
3 学 期	<p>ゲルディメット</p> <p>【知識及び技能】安定したディスク操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防を展開できるようにする</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】技術の名称や行い方、体力の高め方、運動の観察などを理解し、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できる</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。自己の責任を果たそうとすること、作戦などについての話し合いに貢献しようとする。安全を確保することができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ディスクの持ち方確認 バックハンドスローの練習 2人でバックハンドスロー 2対2 3対3 フロントハンドスロー ミニゲーム スロー&キャッチ走 ゲーム運営の確認とゲーム 試合 	<p>【知識及び技能】</p> <p>①技術の名称や行い方について、学習した具体例を挙げている。</p> <p>②ゴール前での攻防を展開するためのボール操作と空間に走りこむなどの動きができる。</p> <p>③ゴール前への侵入などから攻防を展開するための安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>①自己や相手チームの特徴を踏まえた作戦や戦術を選んでいる。</p> <p>②技術的な課題や有効な練習方法の選択について指摘している。</p> <p>③話し合いの場面、合意を形成するための適切なかわり方を見つけている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>①学習に自主的に取り組もうとしている。</p> <p>②作戦などについての話し合いに貢献しようとしている。</p>	○	○	○	○	9
	<p>インディアカ</p> <p>【知識及び技能】 役割に応じたシャトル操作や安定した用具の操作と連携した動きによって、空いた場所をめぐる攻防を展開することができるようにする</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 体力の高め方、運動観察の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。作戦などについての話し合いに貢献しようとする。安全を確保することができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 個人でのシャトル操作の練習 対人でのシャトル操作の練習 動きながらのシャトル操作の練習 サーブ練習 サーブカット（レシーブ）の練習 スパイクの仕方の確認と練習 キャッチのルールを変更し、キャッチ後に動ける制限をして、実践に近い3段攻撃を行う。 ゲームの中で3段攻撃を意識する ブロックについてのルールを確認する 攻防の中でチャンスがあれば2アタックが有効であることを確認し、練習する 審判の仕方について確認する チームで作戦を立ててゲームをする。 自分たちで役割を決め、審判をする。 チームの改善点を見つけ、練習をして試合に活かせるようにする。 試合 	<p>【知識及び技能】</p> <p>①空いた場所をめぐる攻防を展開するためのシャトルや用具の操作と位置に戻るなどの動きができる。</p> <p>②ゲームを展開するための作戦に応じた技能や仲間と連携した動きを身に付けている。</p> <p>③試合の運営の仕方を知っている</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>①シャトル操作やシャトルを持たないときの動きなどの技術を身に付けるための運動の仕方のポイントを見つけている。</p> <p>②自己やチームの課題を見つけている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>①種目の練習に積極的に取り組もうとしている。</p> <p>②作戦などの話し合いなどについて自分の考えを話している。</p> <p>③仲間の学習を援助しようとしている。</p> <p>④試合に必要な準備を主体的に取り組んでいる。</p>	○	○	○	○	9
<p>持久走</p> <p>【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、一定のペースで走り続ける技能を身に付けること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えや他者に伝えること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 持久走の授業について確認 オリエンテーション 基本練習 タイム計測 タイム計測① タイム計測② タイム計測③ タイム計測④ タイム計測⑤ タイム計測⑥ 	<p>【知識及び技能】</p> <p>・陸上競技の技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。</p> <p>・長距離走では、自己に適したペースを維持して走ることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>・動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p>						

<p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>長距離に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする事、自己の責任を果たそうとする事、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする事などや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>タイム計測のタイム計測⑤</p>	<p>・長距離に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする事、自己の責任を果たそうとする事、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする事などや、健康・安全を確保しようとしている。</p>	○	○	○	○	9
						合計	105

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：保健 単位数：1 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 7 組

使用教科書：（ 現代高等保健体育（大修館） ）

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解すると共に、技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに、健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身につけるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>「生涯を通じる健康」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることを理解できる。 ・結婚生活について、心身の発達や健康の保持増進の観点から理解できる。 ・加齢に伴い、心身の機能や形態が変化すること、その変化には個人差があること、疾病や事故のリスクが高まること、健康の回復が長期化する傾向にあることについて理解できる。 ・労働による傷害や職業病などの労働災害は、作業形態や作業環境の変化に伴い質や量が増えたり減ったりすること、健康の回復が長期化する傾向にあることについて理解できる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることを説明できる。 ・結婚生活について、心身の発達や健康の保持増進の観点から説明できる。 ・加齢に伴い、心身の機能や形態が変化すること、その変化には個人差があること、疾病や事故のリスクが高まること、健康の回復が長期化する傾向にあることについて説明できる。 ・労働による傷害や職業病などの労働災害は、作業形態や作業環境の変化に伴い質や量が増えたり減ったりすること、健康の回復が長期化する傾向にあることについて説明できる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各ライフステージにおける健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 ・労働と健康問題について意欲的に学ぶことができる。 <p>定期考査</p>	<p>○指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージと健康 ・思春期と健康 ・性意識と性行動の選択 ・妊娠・出産と健康 ・避妊法と人工妊娠中絶 ・結婚生活と健康 ・中高年期と健康 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・思春期の心身の変化に対応して、自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度が必要であること、及び性に関する情報等への適切な対処が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・結婚生活について、心身の発達や健康の保持増進の観点から理解したことを言ったり書いたりしている。 ・受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題について、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響などについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・中高年期を健やかに過ごすためには、若いときから、健康診断の定期的な受診などの自己管理を行うこと、生きがいをもつこと、運動やスポーツに取り組むことなどが関係することについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・高齢期には、加齢に伴い、心身の機能や形態が変化すること、その変化には個人差があること、疾病や事故のリスクが高まること、健康の回復が長期化する傾向にあることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯の各段階における健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・思春期と健康について、習得した知識を基に、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために、性に関わる情報を適切に整理している。 ・加齢と健康について、習得した知識を基に、中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策を評価している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯の各段階における健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 	○	○	○	11
			○	○		1

<p>「生涯を通じる健康」 「健康を支える環境づくり」 【知識及び技能】 ・労働による傷害や職業病などの労働災害は、作業形態や作業環境の変化に伴い質や量が変わってきたことを理解できる。 ・大気汚染の原因と健康への影響について例をあげて理解できる。 ・大気にかかわる地球規模の健康問題について例をあげて理解できる。 ・水質汚濁、土壌汚染の原因とその健康影響を理解できる。 ・環境汚染による健康被害を防ぐ方法について理解できる。 ・産業廃棄物の処理について理解できる。 ・上下水道のしくみと健康にかかわる課題を理解できる。 ・食品の安全性と健康とのかかわりについて理解できる。 ・食品の安全性を確保するための行政や製造者の役割について理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・労働による傷害や職業病などの労働災害は、作業形態や作業環境の変化に伴い質や量が変わってきたことを説明できる。 ・大気汚染の原因と健康への影響について例をあげて説明できる。 ・大気にかかわる地球規模の健康問題について例をあげて説明できる。 ・水質汚濁、土壌汚染の原因とその健康影響を説明できる。 ・環境汚染による健康被害を防ぐ方法について説明できる。 ・産業廃棄物の処理について説明できる。 ・上下水道のしくみと健康にかかわる課題を説明できる。 ・食品の安全性と健康とのかかわりについて説明できる。 ・食品の安全性を確保するための行政や製造者の役割について説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・労働と健康問題について意欲的に学ぶことができる。 ・環境と健康について意欲的に学ぶことができる。 ・食品と健康について意欲的に学ぶことができる。</p>	<p>○指導事項 ・働くことと健康 ・労働災害と健康 ・健康的な職業生活 ・大気汚染と健康 ・水質汚濁、土壌汚染と健康 ・環境と健康にかかわる対策 ・ごみの処理と上下水道の整備 ・食品の安全性 ・食品衛生にかかわる活動</p>	<p>【知識及び技能】 ・労働による傷害や職業病などの労働災害は、作業形態や作業環境の変化に伴い質や量が変わってきたことについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・働く人の健康の保持増進は、職場の健康管理や安全管理とともに、心身両面にわたる総合的、積極的な対策の推進が図られることで成り立つことについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・人間の生活や産業活動は、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染などの自然環境汚染を引き起こし、健康に影響を及ぼしたり被害をもたらしたりすることがあることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・健康への影響や被害を防止するために環境基本法などの法律等が制定されており、環境基準の設定、排出物の規制、監視体制の整備などの総合的・計画的対策が講じられていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・上下水道の整備、ごみや尿などの廃棄物を適切に処理する等の環境衛生活動は、自然環境や学校・地域などの社会生活における環境、及び人々の健康を守るために行われていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・人々の健康を支えるためには、食品の安全性を確保することが重要であり、食品の安全性が損なわれると、健康に深刻な被害をもたらすことがあり、食品の安全性を確保することは健康の保持増進にとって重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・食品衛生に関わる健康被害の防止と健康の保持増進には、適切に情報を公開、活用するなど行政・生産者・製造者・消費者などが互いに関係を保ちながら、それぞれの役割を果たすことが重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・労働と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・働く人の健康の保持増進について、習得した知識を基に、生活の質の向上を図ることと関連付けて、課題解決の方法に応用している。 ・労働と健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 ・環境と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・人間の生活や産業活動などによって引き起こされる自然環境汚染について、事例を通して整理し、疾病等のリスクを軽減するために、環境汚染の防止や改善の方策に応用している。 ・環境と健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 ・食品と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・食品と健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・労働と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 ・環境と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	13
定期考査			○	○		1

3 学 期	<p>健康を支える環境づくり</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 保健・医療制度及び地域の保健・医療機関について意欲的に学ぶことができる。 様々な保健活動や社会的対策について意欲的に学ぶことができる。 健康に関する環境づくりと社会参加について意欲的に学ぶことができる。 	<p>○指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 保健サービスとその活用 医療サービスとその活用 医療品の制度とその活用 さまざまな保健活動や社会的対策 健康に関する環境づくりと社会参加 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 我が国には、人々の健康を支えるための保健・医療制度が存在し、行政及びその他の機関などから健康に関する情報、医療の供給、医療費の保障も含めた保健・医療サービスなどが提供されていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 医薬品は、医療用医薬品、要指導医薬品、一般用医薬品の三つに大別され、承認制度によってその有効性や安全性が審査されており、販売に規制が設けられていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 疾病からの回復や悪化の防止には、個々の医薬品の特性を理解した上で、使用法に関する注意を守り、正しく使うことが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 自他の健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方に基づいた、健康に関する環境づくりが重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 一人一人が健康に関心をもち、健康を支える適切な環境づくりに積極的に参加していくことが必要であり、そのことが自分を含めた世界の人々の健康の保持増進につながるることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 保健・医療制度及び地域の保健・医療機関について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 医薬品の制度とその活用について、医薬品には承認制度があり、販売に規制が設けられていることと関連付けながら、生活の質の向上のために利用の仕方を整理している。 保健・医療制度及び地域の保健・医療機関について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 地域の保健・医療機関やスポーツ施設の活用の仕方について、関連した情報を整理し、生活の質の向上に向けた課題解決に応用している。 健康に関する環境づくりと社会参加について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ヘルスプロモーションの考え方に基づいた、健康に関する環境づくりに積極的に参加していくために、適切な情報を選択・収集して、分析・評価し計画を立てている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 保健・医療制度及び地域の保健・医療機関について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 様々な保健活動や社会的対策について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 健康に関する環境づくりと社会参加について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 	○	○	○	8	
	定期考査				○	○		1
							合計	
								35

都立向丘高等学校 令和8年

芸術 科目 音楽Ⅱ

教科：芸術

科目：音楽Ⅱ

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～4組

使用教科書：(大修館 Tutti+)

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽Ⅱ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

題材の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		歌	器	創						
正しい発声を身に付けて、クラスの歌声を響かせよう～オリエンテーション 【知】様々な表現形態による歌唱表現の固有性や多様性について理解し、創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、他者との調和を意識して歌う技能を身に付け、歌唱で表す。 【思】音色、リズム、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したこととの関わりについて考え、個性豊かに歌唱表現を創意工夫する。 【態】歌詞の内容や作詞者・作曲者のメッセージを考えながら2部、3部合唱で歌うことに興味をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。	【指導事項】 ・発声の基礎を学ぶ。 ・混声2部、3部合唱曲に取り組み、ハーモニーの作り方を学ぶ。 ・混声合唱の基礎を学び、より深い表現を作り上げる。 【教材】 ・Pretender ・大きな古時計 ・よりよい歌声のための練習曲	○			【知】様々な表現形態による歌唱表現の固有性や多様性について理解し、創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、他者との調和を意識して歌う技能を身に付け、歌唱で表す。 【思】音色、リズム、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したこととの関わりについて考え、個性豊かに歌唱表現を創意工夫する。 【態】なじみのあるJ-POPの歌を、歌詞の内容や作詞者・作曲者のメッセージを考えながら2部、3部合唱で歌うことに興味をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。	○	○	○	6	
言葉の特性と曲種に応じた発声を理解し、表現を創意工夫しながら歌唱しよう 【知】言葉の特性と曲種に応じた発声について理解し、創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な曲にふさわしい発声、言葉の発音などの技能を身に付け、歌唱する。 【思】音色、リズム、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したこととの関わりについて考え、個性豊かに歌唱表現を創意工夫する。 【態】言葉のリズムや抑揚、語感、歌詞が旋律の流れやフレーズにどのように表され、曲想を生み出しているかに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。	【指導事項】 ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらがどのように表現に影響するのか考え、歌唱する。 ・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて意見を交換し理解を深める。 【教材】 ・からたちの花 ・Core 'ngrato	○		○	【知】文化的・歴史的背景との関わり及び言葉の特性と曲種に応じた発声、それらの関わりによって生みだされる表現上の効果について理解し、創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な曲にふさわしい発声、言葉の発音などの技能を身に付け、歌唱する。 【思】音色、リズム、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したこととの関わりについて考え、個性豊かに歌唱表現を創意工夫する。 【態】言葉のリズムや抑揚、語感、歌詞が旋律の流れやフレーズにどのように表され、曲想を生み出しているかに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。	○	○	○	5	
吹奏楽の魅力味わおう～移調楽器について深く学ぼう 【知】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解を深める。移調楽器の理論を理解し、アンサンブルなどの楽曲を編曲する技能を身に付ける。 【思】音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、曲に対する評価とその根拠及び音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを深く味わって聴く。 【態】心情の変化などが吹奏楽でどのように描かれているかに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組む。	【指導事項】 ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、鑑賞する。 ・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて意見を交換し理解を深める。 【教材】 ・オリエン急行 ・楽器音域表			○	【知】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解を深める。移調楽器の理論を理解し、アンサンブルなどの楽曲を編曲する技能を身に付ける。 【思】音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、曲や演奏に対する評価とその根拠及び音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを深く味わって聴く。 【態】列車が走行する様子や情景の移り変わり、旅人の心情の変化などが吹奏楽でどのように描かれているかに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組む。	○	○	○	5	

1
学
期

<p>弾き歌いにチャレンジしようーギターかピアノを選択してー</p> <p>【知】ギター及びピアノの基礎的・基本的な技能を身に付け、各自が選択した楽曲の表現内容を総合的に理解し、表現意図をもって音楽表現をするために必要な発声、読譜、伴奏の具能を身に付け、創造的に表す。</p> <p>【思】リズム・速度・旋律・テクスチャ・強弱と伴奏の関わりを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、楽曲の表現内容を総合的に理解し、どのように歌うか表現意図をもつ。</p> <p>【態】各自が選択した楽曲の表現内容に関心を持ち、弾き歌いという音楽の形態に意欲的に協働して取り組む。</p>	<p>【指導事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ギター及びピアノの基本奏法を理解し、アンサンブルに親しむ。 ・ふさわしい表現を創意工夫して演奏する。 <p>【教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カントリーロード ・Let it be ・Jpop (自由選択) 	○	○	○	<p>【知】ギター及びピアノの基礎的・基本的な技能を身に付け、各自が選択した楽曲の表現内容を総合的に理解し、表現意図をもって音楽表現をするために必要な発声、読譜、伴奏の具能を身に付け、創造的に表す。</p> <p>【思】リズム・速度・旋律・テクスチャ・強弱と伴奏の関わりを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、楽曲の表現内容を総合的に理解し、どのように歌うか表現意図をもつ。</p> <p>【態】各自が選択した楽曲の表現内容に関心を持ち、弾き歌いという音楽の形態に意欲的に協働して取り組む。</p>	○	○	10
<p>実技試験 筆記試験</p>		○	○			○	○	2
<p>声の重なりと響きを味わい、ア・カペラに挑戦してみよう</p> <p>【知】様々な表現形態による歌詞表現の特徴について理解する。他者との調和を意識して歌う技能、表現形態の特徴をいかして歌う技能を身に付け、歌唱で表す。</p> <p>【思】音色、リズム、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きを感受しながらどのように歌うかについて表現意図をもって歌唱する。</p> <p>【態】他者との調和を意識したり、ア・カペラの特徴を生かしたりしながら、イメージをもって歌唱表現を創意工夫することに関心を持ち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。</p>	<p>【指導事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽の構成について学ぶ。 ・アカペラの魅力を味わう。 ・自分たちで互いに協力し合いサウンド作りを進める。 ・互いに聴きあうことにより、より良いサウンド作りを追求する。 <p>【教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野菜のきもち ・サザエさん一家 ・ハナミズキ ・ハモネブ甲子園 	○	○		<p>【知】様々な表現形態による歌詞表現の特徴、曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解する。他者との調和を意識して歌う技能、表現形態の特徴をいかして歌う技能を身に付け、歌唱で表す。</p> <p>【思】音色、リズム、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きを感受しながらどのように歌うかについて表現意図をもって歌唱する。</p> <p>【態】他者との調和を意識したり、ア・カペラの特徴を生かしたりしながら、自分達のイメージをもって歌唱表現を創意工夫することに関心を持ち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。</p>	○	○	10
<p>アンサンブルを楽しもうーリコーダーかギターを選択してー</p> <p>【知】様々な表現形態による器楽表現の固有性や多様性について理解し、創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲技能を身に付け、器楽で表す。</p> <p>【思】音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、どのように演奏するかについて表現意図をもって演奏する。</p> <p>【態】音楽の嗜好や技能の習熟度に応じた教材を選択し、個性豊かに器楽表現を創意工夫しながら主体的・協働的に学習活動に取り組む。</p>	<p>【指導事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・器楽演奏において必要な表現の技術及び知識を学び、イメージをもって演奏活動に取り組む。 ・アンサンブルの特徴を理解する。 <p>【教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・風の谷のナウシカ ・Down by the sally gardens ・Cavatina ・Can't help falling in love 		○	○	<p>【知】曲想と音楽の構造や楽器の音色、奏法との関わりによって生み出される表現上の効果、様々な表現形態による器楽表現の固有性や多様性について理解し、創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲技能を身に付け、器楽で表す。</p> <p>【思】音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことで感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもって演奏する。</p> <p>【態】リコーダーまたはギターのどちらかを選択し、奏法を身に付け音楽の嗜好や技能の習熟度に応じた教材を選択し、個性豊かに器楽表現を創意工夫しながら主体的・協働的に学習活動に取り組む。</p>	○	○	8
<p>グループ編曲をして楽曲を完成させよう</p> <p>【知】様々な音楽素材の表現効果を生かした構成を工夫したり、様々な演奏形態による音楽表現の特徴を理解し、表現意図をもって個性豊かに音楽を作るために必要な記譜の仕方などを身に付け、創造的に表す。</p> <p>【思】音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、様々な音楽素材の表現効果を生かした構成を考え、音楽表現を工夫し、表現意図をもって創作する。</p> <p>【態】様々な音楽素材の表現効果を生かした構成、様々な様式や演奏形態による音楽表現の特徴に関心を持ち、個性豊かに音楽をつくることに主体的に取り組む。</p>	<p>【指導事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コードの構成音をもとに音の組み合わせ方やつなげ方を試しながら、自分の表したいイメージに合うメロディーをつくる。 <p>【教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音のスケッチ①②③ ・Flatで作曲しよう ・一人一台端末を使用し、オンラインソフトウェアにて作成する。 	○	○	○	<p>【知】様々な音楽素材の表現効果を生かした構成を工夫したり、様々な様式や演奏形態による音楽表現の特徴を理解したりして、表現意図をもって個性豊かに音楽を作るために必要な記譜の仕方などを身に付け、創造的に表す。</p> <p>【思】音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、様々な音楽素材の表現効果を生かした構成を考え、様々な演奏形態の特徴を理解して個性豊かな音楽表現を工夫し、どのように音楽を作るか表現意図をもって創作する。</p> <p>【態】様々な音楽素材の表現効果を生かした構成、様々な様式や演奏形態による音楽表現の特徴に関心を持ち、表現意図をもって個性豊かに音楽をつくることに主体的に取り組む。</p>	○	○	5
<p>実技試験 筆記試験</p>		○	○			○	○	2

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 芸術 科目 美術Ⅱ

教科：芸術 科目：美術Ⅱ 単位数： 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 8 組

使用教科書：（美術2 光村図書）

教科 芸術 の目標：

- 【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 美術Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
美術及び美術文化に対する知識を深め、創造的な美術の表現をするために必要な技能などの基礎・基本を基に、創意工夫した学習活動に取り組もうとしている。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えとともに、主題を生み出し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する 見方や感じ方を深めたりしている。	美術や美術文化と豊かに関わり、主体的に表現及び鑑賞の活動に取り組むとともに、主体的に造形活動や学習に対する態度を身に付ける。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現				評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
		絵 ・ 彫	デ ザ イ ン	映 射	鑑 賞						
1 学 期	A オリエンテーション 【知識及び技能】 年間を通して授業で何に取り組むか、教材の揃え方、評価について、理解させる。	・年間指導計画、教材、評価についての理解。	○	○	○	○				2	
	B 「広がるカード」をつくる。 【知識及び技能】 広がるカードの仕組みを理解し、デザインできる。 【思考力、判断力、表現力等】 デザインの要素を取り入れ、自分らしいカードをつくれる。 【学びに向かう力、人間性等】 カードづくりに主体的に取り組む。	・指導事項 参考作品から思考・判断し、デザイン的な表現活動に取り組みさせる。 ・教材 教科書、ケント紙、鉛筆		○				○	○	○	4
	C 「鉛筆デッサン-静物画-」 【知識及び技能】 ○△□に対象に分け、それぞれの特徴を鉛筆で描く。 【思考力、判断力、表現力等】 鉛筆の使い方を工夫し、陰影を付けて立体的に表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 鉛筆デッサンに取り組む。	・指導事項 立体を大きく○△□に分け、それぞれの形態の特徴を理解してデッサンに取り組ませる。 ・教材 鉛筆 2B～4B、画用紙、教科書	○					○	○	○	6
	D 絵画「金屏風に描く」 (伝統文化) 【知識及び技能】 日本の伝統的な絵画様式「屏風」の理解を図る。 【思考力、判断力、表現力等】 四曲一双の金屏風に余白を考えた構成や、飾る時の見え方などを考慮して、日本の絵画様式に取り組む。 【学びに向かう力、人間性等】 伝統や文化への興味を持たせる。	・指導事項 金屏風を背景に金の余白を生かした作品を工夫させる。 ・教材 屏風、金カラー紙（金箔風）、アクリル絵の具、参考作品、教科書等	○			○		○	○	○	12

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科

外国語 科目 英語コミュニケーションⅡ

教科： 外国語 科目： 英語コミュニケーションⅡ

単位数： 4 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 7 組

使用教科書：（ CREATIVE ENGLISH COMMUNICATION Ⅱ（第一学習社） ）

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】単元の内容の概要や要点を理解することができ、関連する事柄について英語でやり取りすることができる。

【思考力、判断力、表現力等】単元の内容に関連する事柄について理解を深め、考え、表現する。

【学びに向かう力、人間性等】単元の内容に関連する事柄について、自分に関連付けて考える。

科目 英語コミュニケーションⅡ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
単元の内容に関連する事柄についての会話や説明を理解することができる。単元の内容に関連する事柄についての発表の概要や要点を理解することができる。単元の内容に関連する事柄についてやり取りすることができる。	絵や写真を見せながら単元の内容に関連する事柄について話したりプレゼンテーションをすることができる。単元の内容に関連する自分や自分の周りのことについて簡潔に書くことができる。	単元の内容に関連する事柄について、自分に関連付けて考え、これまでの人間の歩み、自分たちに今何ができるのか、将来の人生の選択などについて考えを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 「 や 」	話 「 発 」	書					
Lesson1 ＜題材内容とねらい＞ ・国連ユース気候サミットの参加者の活動とメッセージを的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、自分が模擬サミットに参加したと想定して、環境保護のためにしたい活動を説明することができる。 ＜文型・文法事項＞ ・さまざまな助動詞、分詞構文（現在分詞）について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 ＜五領域の知識・技能＞ ・英文の内容に応じた音読をすることができる。 ＜場面・状況など＞ ・模擬サミットの特徴を理解し、聞き手に配慮して、環境保護のためにしたい活動について説明しようとしている。	Get Ready Comprehension Over to You Did Did you know? Make It Your Own! Activity Plus Focus on Language Five Skill Areas Reflect on Your Learning Listening Laboratory Hyper Listening Pre-Intermediate Lesson 1, 2 Listening Strategy Listening Tips	○	○	○	○	○					14
Lesson2 ＜題材内容とねらい＞ ・動物の睡眠についての的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、自分の睡眠習慣について説明することができる。 ＜文型・文法事項＞ ・受け身の分詞構文、副詞節中の〈S+be〉の省略について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 ＜五領域の知識・技能＞ ・未知語の意味を推測して、英文を理解することができる。 ＜場面・状況など＞ ・インタビューにおける注意点を理解しようとしている。 ・聞き手や読み手に配慮して、わかりやすく自分の睡眠習慣について説明しようとしている。	Get Ready Comprehension Over to You Did you know? Make It Your Own! Activity Plus Focus on Language Five Skill Areas Reflect on Your Learning Listening Laboratory Hyper Listening Pre-Intermediate Lesson 3, 4 Listening Strategy Listening Tips	○	○	○	○	○					14
中間考査		○	○			○					1

1 学期	<p>Lesson3 <題材内容とねらい> ・アスリートのスピーチに見られる特徴についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、高校生活で達成したいことについてスピーチをすることができる。 <文型・文法事項> ・関係代名詞の非制限用法、仮定法過去・仮定法過去完了について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 <五領域の知識・技能> ・文章の展開(列挙)に注意して、英文を理解することができる。 <場面・状況など> ・スピーチにおける注意点を理解しようとしている。 ・効果的なスピーチにするための方法を理解し、聞き手に配慮して、わかりやすくスピーチをしようとしている。</p>	<p>Get Ready Comprehension Over to You Did you know? Make It Your Own! Activity Plus Focus on Language Five Skill Areas Reflect on Your Learning Listening Laboratory Hyper Listening Pre-Intermediate Lesson 5, 6 Listening Strategy Listening Tips</p>	○	○	○	○	○	<p>【知識・技能】 アスリートのスピーチに見られる特徴について理解することができる。アスリートのスピーチに見られる特徴についての英文の概要や要点を理解することができる。アスリートのスピーチに見られる特徴についてやり取りすることができる。 【思考・判断・表現】 整理した内容を活用して、関係代名詞の非制限用法、仮定法を用いながら、高校生活で達成したいことについてスピーチをすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 関係代名詞の非制限用法、仮定法を用いて、効果的なスピーチにするための方法を理解し、聞き手に配慮して分かりやすくスピーチをしようとしている。</p>	○	○	○	14
	<p>Lesson4 <題材内容とねらい> ・自然災害と防災についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、防災グッズについてプレゼンテーションをすることができる。 <文型・文法事項> ・助動詞+have+過去分詞、完了不定詞について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 <五領域の知識・技能> ・文章の展開(例示・追加)に注意して、英文を理解することができる。 <場面・状況など> ・効果的なプレゼンテーションにするための方法を理解し、聞き手に配慮して、わかりやすくプレゼンテーションをしようとしている。</p>	<p>Get Ready Comprehension Over to You Did you know? Make It Your Own! Activity Plus Focus on Language Five Skill Areas Reflect on Your Learning Listening Laboratory Hyper Listening Pre-Intermediate Lesson 7, 8 Listening Strategy Listening Tips</p>	○	○	○	○	○	<p>【知識・技能】 自然災害と防災について理解することができる。自然災害と防災についての英文の概要や要点を理解することができる。自然災害と防災についてやり取りすることができる。 【思考・判断・表現】 整理した内容を活用して、助動詞+have+過去分詞、完了不定詞を用いながら、防災グッズについてプレゼンテーションをすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 助動詞+have+過去分詞、完了不定詞を用いて、効果的なプレゼンテーションにするための方法を理解し、聞き手に配慮して分かりやすくプレゼンテーションをしようとしている。</p>	○	○	○	14
	<p>期末考査</p>		○	○			○		○	○		1
	<p>Lesson5 <題材内容とねらい> ・日本および世界の元号についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・日本の俳句の英訳をすることができる。 <文型・文法事項> ・関係副詞の非制限用法、同格のthatについて理解を深め、これらを適切に活用することができる。 <五領域の知識・技能> ・同格表現や言いかえ表現に注意して、英文を理解することができる。 <場面・状況など> ・ディスカッションの役割分担を理解しようとしている。 ・読み手に配慮して、わかりやすい俳句の英訳をしようとしている。</p>	<p>Get Ready Comprehension Over to You Did you know? Make It Your Own! Activity Plus Focus on Language Five Skill Areas Reflect on Your Learning Listening Laboratory Hyper Listening Pre-Intermediate Lesson 9, 10 Listening Strategy Listening Tips</p>	○	○	○	○	○	<p>【知識・技能】 日本および世界の元号について理解することができる。日本および世界の元号についての英文の概要や要点を理解することができる。日本の俳句の英訳をすることができる。 【思考・判断・表現】 整理した内容を活用して、関係副詞の非制限用法、同格のthatを用いながら、ディスカッションをすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 関係副詞の非制限用法、同格のthatを用い、ディスカッションの役割分担を理解しながら取り組んでいる。読み手に配慮して、わかりやすい俳句の英訳をしようとしている。</p>	○	○	○	14

<p>Lesson6 <題材内容とねらい> ・フードロス・フードウェイストの問題についての的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、フードロス・フードウェイストについてのアンケートに質問項目を追加し、その理由を説明することができる。 <文型・文法事項> ・完了形の分詞構文、複合関係詞について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 <五領域の知識・技能> ・文章の展開（対照）に注意して、英文を理解することができる。 <場面・状況など> ・英語のアンケートの構成を理解しようとしている。 ・聞き手や読み手に配慮して、アンケートに質問項目を追加し、わかりやすくその理由を説明しようとしている。</p>	<p>Get Ready Comprehension Over to You Did you know? Make It Your Own! Activity Plus Focus on Language Five Skill Areas Reflect on Your Learning Listening Laboratory Hyper Listening Pre-Intermediate Lesson 11、12 Listening Strategy Listening Tips</p>							<p>【知識・技能】 フードロス・フードウェイストの問題について理解することができる。フードロス・フードウェイストの問題についての英文の概要や要点を理解することができる。フードロス・フードウェイストの問題についてやり取りすることができる。 【思考・判断・表現】 整理した内容を活用し、完了形の分詞構文、複合関係詞を用いながら、フードロス・フードウェイストについてのアンケートに質問項目を追加し、その理由を説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 完了形の分詞構文、複合関係詞を用い、聞き手や読み手に配慮して、英語のアンケートの構成を理解しようとした上で、アンケートに質問項目を追加し、わかりやすくその理由を説明しようとしている。</p>					14
<p>中間考査</p>		○	○						○	○			1
<p>Lesson7 <題材内容とねらい> ・南谷真鈴さんの冒険と、彼女のメッセージについての的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、自分自身の目標や行動計画を説明することができる。 <文型・文法事項> ・さまざまな仮定法、否定語＋倒置について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 <五領域の知識・技能> ・やり取りをうまく継続させることができる。 <場面・状況など> ・プレゼンテーションの注意点を理解し、聞き手に配慮して、わかりやすく自分自身の目標や行動計画を説明しようとしている。</p>	<p>Get Ready Comprehension Over to You Did you know? Make It Your Own! Activity Plus Focus on Language Five Skill Areas Reflect on Your Learning Listening Laboratory Hyper Listening Pre-Intermediate Lesson 13、14 Listening Strategy Listening Tips</p>	○	○	○	○	○	○	<p>【知識・技能】 南谷真鈴さんの冒険と、彼女のメッセージを理解することができる。南谷真鈴さんの冒険と、彼女のメッセージについての英文の概要や要点を理解することができる。南谷真鈴さんの冒険と、彼女のメッセージについてやり取りすることができる。 【思考・判断・表現】 整理した内容を活用し、さまざまな仮定法、否定語＋倒置を用いながら、自分自身の目標や行動計画を説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 さまざまな仮定法、否定語＋倒置を用いて、プレゼンテーションの注意点を理解しながら、聞き手に配慮して、わかりやすく自分自身の目標や行動計画を説明しようとしている。</p>	○	○	○	○	14
<p>Lesson8 <題材内容とねらい> ・電池の発展についての的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、創造的であるためには何が必要かを説明することができる。 <文型・文法事項> ・独立不定詞・独立分詞構文、if…以外が条件を表す仮定法について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 <五領域の知識・技能> ・文章の展開（時間的順序）に注意して、英文を理解することができる。 <場面・状況など> ・ユーザーマニュアルの情報の特徴を理解しようとしている。 ・聞き手や読み手に配慮して、創造的であるためには何が必要かをわかりやすく説明しようとしている。</p>	<p>Get Ready Comprehension Over to You Did you know? Make It Your Own! Activity Plus Focus on Language Five Skill Areas Reflect on Your Learning Listening Laboratory Listening Laboratory Hyper Listening Pre-Intermediate Lesson 15、16 Listening Strategy Listening Tips</p>	○	○	○	○	○	○	<p>【知識・技能】 電池の発展について理解することができる。電池の発展についての英文の概要や要点を理解することができる。電池の発展についてやり取りすることができる。 【思考・判断・表現】 整理した内容を活用し、独立不定詞・独立分詞構文、if…以外が条件を表す仮定法を用いながら、創造的であるためには何が必要かを説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ユーザーマニュアルの情報の特徴を理解しようとしている。独立不定詞・独立分詞構文、if…以外が条件を表す仮定法を用いながら、聞き手や読み手に配慮して、創造的であるためには何が必要かをわかりやすく説明しようとしている。</p>	○	○	○	○	14
<p>期末考査</p>		○	○						○	○			1

Lesson9 ＜題材内容とねらい＞ ・オーバーツーリズムの問題と新しい旅行様式についての的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、旅行の写真をソーシャルメディアに挙げるべきかどうかについて、自分の意見を複数のパラグラフで書くことができる。 ＜文型・文法事項＞ ・前置詞＋関係代名詞、強調構文について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 ＜五領域の知識・技能＞ ・パラグラフごとの役割に注意して、英文を理解することができる。 ＜場面・状況など＞ ・ソーシャルメディアの特徴を理解しようとしている。 ・旅行の写真をソーシャルメディアに挙げるべきかどうかについて、読み手に配慮して、自分の意見を複数のパラグラフでわかりやすく書こうとしている。	Get Ready Comprehension Over to You Did you know? Make It Your Own! Activity Plus Focus on Language Five Skill Areas Reflect on Your Learning Listening Laboratory Hyper Listening Pre-Intermediate Lesson 17, 18 Listening Strategy Listening Tips																																14
3 学 期 Optional Lesson 1 ＜題材内容とねらい＞ ・ストーリーの展開を的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、ストーリーに関連する自分の考えを話すことができる。	Get Ready Comprehension Over to You Did you know? Make It Your Own! Activity Plus Focus on Language Five Skill Areas Reflect on Your Learning Listening Laboratory Hyper Listening Pre-Intermediate Lesson 19 Listening Strategy Listening Tips																																7
Optional Lesson 2 ＜題材内容とねらい＞ ・ストーリーの展開を的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、ストーリーに関連する自分の考えを話すことができる。	Get Ready Comprehension Over to You Did you know? Make It Your Own! Activity Plus Focus on Language Five Skill Areas Reflect on Your Learning Listening Laboratory Hyper Listening Pre-Intermediate Lesson 20 Listening Strategy Listening Tips																																7
学年末考査																																	1

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 外国語 科目 論理・表現Ⅱ

教科： 外国語 科目： 論理・表現Ⅱ 単位数： 2 単位
 対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 7 組 （7 組： ）
 使用教科書： (be Smart II English Logic and Expression II, 英文法・語法Vintage 4th Edition, Vintage Canvas)

- 教科 外国語 の目標：
- 【知識及び技能】単元の内容の概要や要点を理解することができ、関連する言語材料を用いることができる。
 - 【思考力、判断力、表現力等】単元の内容に関連する事柄について理解を深め、考え、論理的に表現する。
 - 【学びに向かう力、人間性等】単元の内容に関連する事柄について、自分に関連付けて考え、論理的に伝える。

科目 論理・表現Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語の特徴やきまりに関する事項及びその働きや役割を理解している。目的や場面、状況に応じて、自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して、詳しく話したり書いたりして伝えることができる。	目的や場面、状況に応じて、自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して、詳しく話したり書いたりして伝え合っている。多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して詳しく伝える。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手・読み手など他者に配慮しながら、主体的・自律的に表現しようとしている。多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	書					
Lesson 1 【知識及び技能】 <知識> 時制の意味や働きについて理解している。(TASK-A/D) <技能> 時制を用いて、興味のあることや将来の夢について、伝え合う技能を身につけている。(TASK-A/D) 【思考力、判断力、表現力等】 10年後の自分についての考えを、論理的に詳しく書くことができる。(WRITE) 【学びに向かう力、人間性等】 10年後の自分についての考えを、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE)	<ul style="list-style-type: none"> Forms Expressions Speaking Tips for Logical Thinking Interactions Active Learning Canvas 第1章 		○	○	【知識及び技能】 時制を適切に用いて、興味のあることや将来の夢について、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 10年後の自分についての考えを、論理的に詳しく書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 10年後の自分についての考えを、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。	○	○	○	3
Lesson 2 【知識及び技能】 <知識> 名詞節の意味や働きについて理解している。(TASK-D) <技能> 名詞句や名詞節を用いて、家での時間の過ごし方について、書く技能を身につけている。(TASK-D) 【思考力、判断力、表現力等】 家での時間の過ごし方や楽しい予定についての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。(TASK-A/C) (SHARE) 【学びに向かう力、人間性等】 家での時間の過ごし方についての情報を、論理的に詳しく伝え合うとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	<ul style="list-style-type: none"> Forms Expressions Speaking Tips for Logical Thinking Interactions Active Learning Canvas 第2章 		○	○	【知識及び技能】 名詞節を用いて、家での時間の過ごし方について、ほぼ正しい英語で書くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 家での時間の過ごし方についての情報を、論理的に詳しく書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 家での時間の過ごし方についての情報を、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。	○	○	○	3
Lesson 3 【知識及び技能】 <知識> 助動詞の意味や働きについて理解している。(CHECK-B) <技能> 助動詞を用いて、自信のあることについて、話す技能を身につけている。(SHARE) 【思考力、判断力、表現力等】 自信があることについての情報を、論理的に詳しく話すことができる。(SHARE) 【学びに向かう力、人間性等】 自信があることについての情報を、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	<ul style="list-style-type: none"> Forms Expressions Speaking Tips for Logical Thinking Interactions Active Learning Canvas 第3章 			○	【知識及び技能】 助動詞の表現を適切に用いて、自信のあることについて、ほぼ正しい英語で話すことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自信があることについての情報を、論理的に詳しく話すことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自信があることについての情報を、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	○	○	○	3
1 学期 定期考査				○		○	○		1
Lesson 4 【知識及び技能】 <知識> 形容詞や分詞の意味や働きについて理解している。(TASK-A/D) <技能> 形容詞や分詞を用いて、印象に残った	<ul style="list-style-type: none"> Forms Expressions Speaking Tips for Logical Thinking Interactions Active Learning Canvas 第4章 				【知識及び技能】 形容詞や分詞を用いて、印象に残った行事について、ほぼ正しい英語で書くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 旅行を通して学んだことについての情報を、論理的に詳しく話すことができる。				

<p>た行事について、書く技能を身につけている。(WRITE)</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】旅行を通して学んだことについての情報を、論理的に詳しく話すことができる。(SHARE)</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】旅行を通して学んだことについての情報を、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)</p>					○	○	【学びに向かう力、人間性等】旅行を通して学んだことについての情報を、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	○	○	○	3
<p>Lesson 5</p> <p>【知識及び技能】</p> <p><知識> 形容詞句の意味や働きについて理解している。(TASK-A/B)</p> <p><技能> 形容詞句を用いて、スマートフォンの修理や動画の描写について、伝え合う技能を身につけている。(TASK-A/B)</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】便利なデバイスについての情報を、論理的に詳しく書くことができる。(WRITE)</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】便利なデバイスについての情報を、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE)</p>	<ul style="list-style-type: none"> Forms Expressions Speaking Tips for Logical Thinking Interactions Active Learning Canvas 第5章 				○	○	【知識及び技能】形容詞句を適切に用いて、スマートフォンの修理や動画の描写について、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	○	○	○	3
<p>Lesson 6</p> <p>【知識及び技能】</p> <p><知識> 関係詞の意味や働きについて理解している。(SHARE)</p> <p><技能> 関係詞を用いて、フェイクニュースについて、話す技能を身につけている。(SHARE)</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】フェイクニュースについての情報を、論理的に詳しく話すことができる。(SHARE)</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】フェイクニュースについての情報を、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)</p>	<ul style="list-style-type: none"> Forms Expressions Speaking Tips for Logical Thinking Interactions Active Learning Canvas 第6章 				○	○	Lesson 6	○	○	○	3
<p>定期考査</p>					○			○	○		1
<p>Lesson 7</p> <p>【知識及び技能】</p> <p><知識> 副詞の意味や働きについて理解している。(TASK-B)</p> <p><技能> 副詞を用いて、日本語と英語の表現の違いについて、伝え合う技能を身につけている。(TASK-B)</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】日本語と英語の表現の違いについての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。(TASK-B)</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】日本語と英語の表現の違いについての情報を、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-B)</p>	<ul style="list-style-type: none"> Forms Expressions Speaking Tips for Logical Thinking Interactions Active Learning Canvas 第7章 				○		Lesson 7	○	○	○	3
<p>Lesson 8</p> <p>【知識及び技能】</p> <p><知識> 副詞句の意味や働きについて理解している。(TASK-C/D)</p> <p><技能> 副詞句を用いて、幸せな経験などについて、書く技能を身につけている。(TASK-C/D)</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】周りの人の幸せについての経験を、論理的に詳しく書くことができる。(WRITE)</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】周りの人の幸せについての経験を、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE)</p>	<ul style="list-style-type: none"> Forms Expressions Speaking Tips for Logical Thinking Interactions Active Learning Canvas 第8章 				○		Lesson 8	○	○	○	3

